

令和7年度

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会

答 申 書



令和8年1月

◆ 湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会について

平成 29 年 3 月、若者や女性のまちづくりへの参画機会を積極的に確保することを目的に、「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例」が制定されました。同条例第 12 条に基づき、若者や女性の活躍推進に資するため、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会（以下「推進協議会」）が置かれています。推進協議会は、市長の諮問に応じ、若者や女性の活躍推進に関する重要事項の調査・協議、および施策の実施状況の調査を行い、必要と認める事項について市長に意見を述べる役割を担っています。

このたび、推進協議会では、市長からの諮問を受け、若者や女性の視点から、深く議論を重ねてまいりました。その議論の結果を、ここに答申書として取りまとめ、提出いたします。

◆ 市長の諮問について

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例（平成 29 年湯沢市条例第 1 号）第 12 条第 2 項の規定に基づき、「湯沢市総合振興計画（若者や女性の魅力あふれるまちづくり）」について、貴協議会の意見を求めます。

◆ 推進協議会委員名簿

委員の選出に当たっては、公募 2 名、市長が特に必要と認める者 1 名のほか、女性団体から 2 名、若者団体から 2 名、関係機関から 7 名、市内高校から 2 名が推薦されました。

任期：令和 7 年 7 月 9 日～令和 9 年 7 月 8 日

役 職	氏 名	所 属
会 長	佐 藤 孝 昭	AsoV! Va 秋ノ宮
副会長	佐 々 木 優 子	環東鳥海山活性化プロジェクト
委 員	眞 木 朝 美	公募
〃	山 本 永 太	公募
〃	佐 藤 雅 俊	一般社団法人 湯沢青年会議所
〃	高 橋 真 美	湯沢商工会議所
〃	佐 藤 雄 一	ゆざわ小町商工会
〃	佐 々 木 ち ひ ろ	北都銀行湯沢支店
〃	今 野 瑞 柚	秋田銀行湯沢支店
〃	山 内 紗 月	Orbray 株式会社
〃	瀬 下 陽 太	秋田県雄勝地域振興局
〃	見 田 優 和	一般社団法人雄勝建設業協会女性部会はなこまち
〃	菅 美 登 里	秋田県醗酵工業株式会社 A-ribbon
〃	佐 々 木 温 和	秋田県立湯沢高等学校
〃	佐 々 木 玲 咲	秋田県立湯沢翔北高等学校
〃	高 橋 玲 子	あきた F・F 推進員

◆ 取組内容

湯沢市 若者・女性の流出抑制に向けた提言について

1. 現状分析 若者・女性の転出超過と問題意識

湯沢市においては、若者・女性の流出を抑制することが総合振興計画上の特に重要な課題となっております。

現在、湯沢市は転出超過の状況にあり、特に20代・30代・40代の若年・子育て世代の転出が続いております。

本協議会の議論により、若者が進学等で一度市外に出ることは避けられない現実である一方、市外での経験後のライフステージにおいて、湯沢市が「選択肢として十分に認識されていない」状況にあることが明らかになりました。

したがって、**市外への流出を抑制するのではなく、若者・女性が経験を積んだ後に、再び湯沢市で働き、暮らすことを前向きに「選び直せる」環境を整えることが重要であり、そのためには、進学・就職といった人生の節目において、湯沢市での働き方や暮らし方が具体的にイメージでき、自身の将来設計の中に位置づけられることが不可欠です。**

この実現のため、「**なんとなく都会で**」という流れから脱却し、具体的なメリットと**ワクワク感**を発信するとともに、「**選択肢が見える**」「**挑戦しやすい**」「**安心して暮らせる**」環境の整備を重点的に進めることが喫緊の課題となります。

2. 課題の構造分析 転出・Uターン阻害の要因

この現状を踏まえ、当事者である若者・女性で「なぜ転出しているのか、なぜ戻ってこないか」を議論し、以下のとおり要因を分析いたしました。

●湯沢市を出て行ってしまいう要因

◇ 仕事・キャリア

- ✓ 仕事がない
- ✓ 給与が低い、給料が安い
- ✓ フレックス勤務がない
- ✓ 職業の選択肢が少ない
- ✓ 新しい仕事がない
- ✓ クリエイティブな仕事がない（IT、デザイン、映像、ゲーム制作など）

◇ 生活・利便性・教育

- ✓ 交通の利便性が良くない、移動手段が車しかない
- ✓ 雪が大変、雪かきや運転が大変
- ✓ 都会への憧れ、都会の飯
- ✓ 近隣に遊ぶ場所がない、遊べる場所が少ない
- ✓ 習い事がない、子どもが楽しめる場所がない、学べる環境が少ない
- ✓ コンビニが遠い、おしゃれな店がない、夜に遊ぶ場所がない
- ✓ 大学、専門学校がない

◇ 情報・広報

- ✓ 魅力的な情報不足、湯沢市の良さ、知らない
- ✓ 企業の求人情報がない、融資・法律・経営情報がない

◇ その他

- ✓ 生活水準が低い（リア充）
- ✓ 田舎特有の人間関係
- ✓ 人目が気になり、金髪など奇抜なことができない

●湯沢市に戻ってこない要因

◇ Uターン・帰省

- ✓ 湯沢に戻ってきて何をすることがわからない、やりたい事がない、なんとなく
- ✓ 帰省してもやることがない

◇ 意識・環境

- ✓ 漠然と「また湯沢に戻ってきたい」と思っている
- ✓ 地元で働くことの代償が高い
- ✓ 「なんで戻ってきたの?」と言われる違和感
- ✓ 湯沢の良さ（山・自然）を知らない
- ✓ 不便なところに新しい関係が築けない

3. 課題提起_若者・女性の当事者による提言

上記を踏まえ、当協議会は、当事者である若者・女性の視点で掘り下げた、総合振興計画における「若者・女性の流出抑制」に関する喫緊の課題を以下のとおり提言いたします。

湯沢市におかれましては、若者・女性の流出を抑えるために、本当に取り組むべき課題を提議し、これに基づき、課題の解決策となる政策、施策、事業を検討していただくようお願いいたします。

■雇用と経済について

若者・女性が「湯沢市に戻りたい・住み続けたい」と思えるよう、賃金水準の向上と、多様な働き方に対応した雇用機会の創出が喫緊の課題である。

※参考意見

- ✓ すぐに働けるようなところが必要
- ✓ 移住が選択肢に入る環境づくり
- ✓ 給料、労働時間...逆にいい
- ✓ 起業のハードルが高い...など

■ 交通について

車依存から脱却できていないため、車を持たない高齢者や学生の生活利便性が著しく低い。すべての市民が恩恵を受けられる公共交通システムの再構築が課題である。

※参考意見

- ✓ 高齢者等、不自由な方含む（学生でもだれでも）への交通手段
- ✓ 湯沢市内外（近隣市町村）に行ける市民限定のタクシーやバスが必要
- ✓ 循環バスをドア to ドアまで欲しい
- ✓ タクシーを使う人が多い。（※公共交通の不足や不便さの裏返しと解釈）
- ✓ お酒を飲んでからの移動手段の確保…など

■ 情報発信について

従来の「全体」に向けた一律な情報発信から脱却し、若者・女性が本当に知りたい情報（仕事、住まい、イベント）を、日常的に利用するツールで届ける体制への転換が、課題である。

※参考意見

- ✓ 0からのアピールではなく、インフルエンサーの活用
- ✓ SNSの活用（育成している時間がない…今すぐ!）
- ✓ 対象を全体→個人へ…など

■ その他の生活インフラ・環境に関する課題

子育てや若者同士の交流、生活の安心感に直結する医療・居場所・環境の整備が課題である。

※参考意見

- ✓ 病児保育
- ✓ 日曜日病院
- ✓ 若者が集まれるスペース（e-スポーツ）
- ✓ カラスの糞
- ✓ シャッター街・空き家（の活用が進んでいない）…など

◆ 参考_第3回ワークショップでのまとめ

チーム①

1. 根本的な構造と行動（中心的な分析）

- ✓ 学校・仕事がないのでとりあえず上京する。
- ✓ 上京して向こうの生活に満足する。
- ✓ 湯沢の魅力を受け取る場がない。
- ✓ 雪の問題
- ✓ 人目が気になり、金髪など奇抜なことができない。
- ✓ 宅地分譲がよい（空き家など集落には入りにくい）

2. 「なぜ湯沢市を出て行ってしまおうのか？」の要因

テーマ	要因（付箋の内容）
仕事・キャリア	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事がない ・給与が低い ・仕事 ・フレックス勤務がない ・転職先が見つからない
生活・利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の利便性が良くない ・雪が大変 ・都会への憧れ ・近隣に遊ぶ場所がない ・都会の飯 ・クラブに憧れ
情報・広報	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な情報不足 ・湯沢市の良さ、知らない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生活水準が低い（リア充）

3. 「なぜ湯沢市に戻ってこないのか？」の要因

テーマ	要因（付箋の内容）
Uターン・帰省	<ul style="list-style-type: none"> ・湯沢に戻ってきて何をすることがわからない ・やりたい事がない、なんとなく ・帰省してもやることがない ・湯沢に戻って良いのか？
意識	<ul style="list-style-type: none"> ・漠然と「また湯沢に戻ってきたい」と思っている ・他力本願 ・地元で働くことの代償が高い

チーム②

1. 根本的な構造と生活機能の不足（中心的な分析）

- ✓ 大学、専門学校がない。
- ✓ スキルをいかせる仕事がない。
- ✓ ターゲットがない。（エステ、マツエクなど）
- ✓ 取扱いにくい物件、コンビニ、病院がない。（雪、セキュリティの問題）
- ✓ 居住 ⇒ 免許が必要（湯沢に住むなら補助金も必要）⇒ 住宅支援として若者の補助金しかない。

2. 「なぜ湯沢市を出て行ってしまおうのか？」の要因

テーマ	要因（付箋の内容）
仕事・キャリア	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事がない ・給料が安い ・職業の選択肢が少ない ・新しい仕事がない
教育・学習機会	<ul style="list-style-type: none"> ・習い事がない ・子どもが楽しめる場所がない ・遊べる場所が少ない ・学べる環境が少ない
生活・利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段が車しかない ・公共交通機関が少ない ・雪（雪かきや運転が大変） ・コンビニが遠い ・おしゃれな店がない ・夜に遊ぶ場所がない
環境・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが多い ・お店の客層が良くない ・田舎特有の人間関係

3. 「なぜ湯沢市に戻ってこないのか？」の要因

テーマ	要因（付箋の内容）
住居・生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい家がない ・家を借りるのが大変 ・雪国のライフスタイルが大変

チーム③

1. 根本的な構造と行動（中心的な分析）

働く場所がない。

若い人が興味のある仕事が少ない（IT、デザイン、映像、ゲーム制作などクリエイティブな仕事）。

商店街がシャッター

流雪溝がないと大変

豚舎のニオイ

「なんで戻ってきたの？」と言われる違和感

2. 「なぜ湯沢市を出て行ってしまおうのか？」の要因

テーマ	要因（付箋の内容）
仕事・キャリア	<ul style="list-style-type: none">・クリエイティブな仕事がない・働く場所がない・企業の求人情報がない・給与が低い・リモートワークできる仕事がない・融資・法律・経営情報がない
情報・魅力	<ul style="list-style-type: none">・魅力的な情報がない・湯沢で活躍している人の情報がない・広報が古い、伝わりにくい・教育（湯沢の良さ、歴史、強みを学ぶ機会がない）
生活・利便性	<ul style="list-style-type: none">・雪が多い、除雪が大変・雪の対策がされていない住まい・病院が遠い・バスやタクシーが不便
その他	<ul style="list-style-type: none">・田舎のイメージがマイナス・地域活動への参加のきっかけがない

3. 「なぜ湯沢市に戻ってこないのか？」の要因

テーマ	要因（付箋の内容）
意識・環境	<ul style="list-style-type: none">・湯沢の良さ（山・自然）を知らない・遠い・不便・不便なところに新しい関係が築けない・温泉やごはんの相談（情報）がない
生活・文化	<ul style="list-style-type: none">・祭りなどイベントの場所が遠い・「なんで戻ってきたの？」と言われる違和感

◆ 開催状況

<p>■第1回推進協議会（令和7年7月9日）</p>	
時間	18時00分から20時00分まで
会場	湯沢市役所本庁舎会議室23・24
出席者	出席委員16名
テーマ	<p>委嘱状交付・諮問・事業説明 市総合振興計画等について</p>  
<p>■第2回推進協議会（令和7年8月21日）</p>	
時間	18時00分から20時00分まで
会場	湯沢市役所本庁舎会議室25・26
出席者	出席委員13名
テーマ	<p>①若者・女性施策について ②市総合振興計画へ！ 若者・女性の声を未来につなぐ政策提言のインプット 講師：一般社団法人地方公共団体政策支援機構 渡辺 太樹 氏</p>  
<p>■第3回推進協議会（令和7年9月25日）</p>	
時間	18時00分から20時00分まで
会場	湯沢市役所本庁舎会議室23・24
出席者	出席委員13名
テーマ	<p>市総合振興計画へ！ 若者・女性の声を未来につなぐ政策提言 講師：一般社団法人地方公共団体政策支援機構 渡辺 太樹 氏</p>  

■第4回推進協議会（令和7年11月17日）	
時間	18時00分から20時00分まで
会場	湯沢市役所本庁舎会議室25・26
出席者	出席委員13名
テーマ	<p>道の駅おがち整備について（ワークショップ） 講師：総務省地域力創造アドバイザー 全国「道の駅」女性駅長会会長 加藤 ほと子 氏</p> 
■第5回推進協議会（令和7年12月1日）	
時間	18時00分から20時00分まで
会場	湯沢市役所本庁舎会議室25・26
出席者	出席委員8名
テーマ	<p>市総合振興計画へ！ 若者・女性の声を未来につなぐ政策提言 講師：一般社団法人地方公共団体政策支援機構 渡辺 太樹 氏</p> 

湯ま第193号
令和7年7月9日

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会長 様

湯沢市長 佐藤 一夫



湯沢市総合振興計画（若者や女性の魅力あふれるまちづくり）について（諮問）

湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例（平成29年湯沢市条例第1号）第12条第2項の規定に基づき、湯沢市総合振興計画（若者や女性の魅力あふれるまちづくり）について、貴協議会の意見を求めます。